

夜景サミット 2016 i nベトナム参加報告書

長崎市議会議員 西田みのぶ

訪問期間 平成28年7月25日(月)～7月29日(金) 機内2日・現地2日間泊

訪問都市 ベトナムホーチミン市

【7月26日(火)】

1、出発(7月26日)1時25分発

羽田国際空港で全員集合、深夜の出発となった。

2、ベトナムタンソンニャット国際空港着(7月26日)

現地時間の朝7時15分にタンソンニャット空港に到着、早朝人影が少ないベトナムの市街を通り、ホテルにチェックイン、休憩後ガイドさんの案内で街並みを見学しました。



【企業訪問】(7月26日)

3、JETRO(日本貿易振興機構)ホーチミン事務所(14:00~15:00)

ジェトロ(JETRO)は、日本企業のベトナム進出の援助(会社設立、投資)、進出した日系企業を支援する会社です。私たちはホーチミン事務所を訪問、現地の滝本浩司所長から、ベトナムの概要と歴史、データに基づくマクロ経済、市場としてのベトナム、日本とベトナム関係などの説明をしていただきました。ベトナムの南部にあるホーチミン市は、在留邦人や商工会会員が多く、700人の日本人小学生が在留しているそうです。

ベトナムの年間平均所得は20万円、男性より女性が働き者との説明がありました。ちなみに、現在15万人のベトナム人が日本で働いているとの説明がありました。



4、ESUHAI（実習生教育機関）（15:30~16:30）

ESUHAI は、実習生に人材が自らを望み、自ら考え、自ら行動できるように、本人に自分の目標意識を強く持たせ、他の誰でもなく自分の意志で成長する、自主・自立・自律の教育を実践させ、技能・技術を身につけるため忍耐強く意欲的に学ぶ覚悟がある技能実習生を日本などに派遣する会社です。

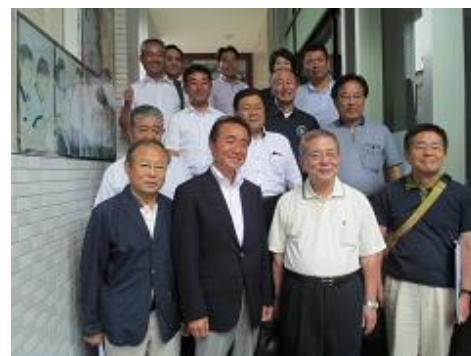
訪問の際、入口に「二宮金次郎」の像があるのを見て、驚きと親しみを感じました。会社内に入ると、多くの日本人スタッフや社員の皆様からの出迎えを受けました。

その後、歓迎の挨拶を受け、私から、訪問団を代表してお礼の挨拶を行いました。

ESUHAI の営業部門顧客開拓サポート担当の「和田由紀子」さんから、会社概況や実習教育の目的などの説明を受け、その後建物の階上にある、実習教室の教育現場の視察を行いました。視察では、『技能実習生人材育成コース』と『幹部候補技術者人材育成コース』を案内され、実習状況を見学、指導員のもと、実習生の皆さんが、日本で通常使用する言葉や言葉づかい、研修先である会社内での、実務に対する受け答えなどを学んでいました。

その後、意見交換を行いました。私たちの質問に“はきはき” 答える姿は、前向きでやる気満々だとの印象を受けました。

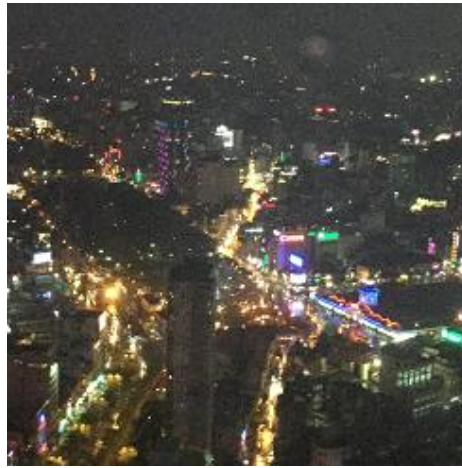
会社方針に基づき統制された学習方法と、それを一生懸命に学ぶ実習生の姿が、新鮮に感じました。



5、ホーチミン市の夜景視察（18:00~21:30）

今回の夜景サミットの主催者である、夜景観光コンベンション・ビューローの「丸々もとお」氏の主催で、日本から参加した、各市の代表者の皆さんと共に、貸切バスバスでホーチミン市の夜景視察を行いました。残念ながら終始“大雨”で車窓内での視察となりました。車窓では、文化施設や観光施設のライトアップの外観を視察し、天空からは、ビテクスコ・フィナンシャルタワー（サイゴンスカイデッキ）の展望台から市街の夜景を眺望しました。

車窓の夜景は、昼間見た建物の姿（風格）と違い、施設と周辺の輪郭に合わせたライトアップが建物を“調和と美しさ”に変えていました。天空からの夜景は、残念ながら大雨で全貌が見えませんが、黄金色の光と街中のネオンによる光との二色で彩られており、今後夜景に力を入れたなら、新しい観光資源になるのではないかと感じました。



【7月27日（水）】

6、夜景サミット セミナー・懇親会（14:00~20:00）

《開会式》

主催者の「丸々もとお」氏より、開会の挨拶と今回開催した『夜景サミット 2016 inベトナム』について、説明がありました。次に、ベトナム側の来賓として、Deputy Directorの「LA QUOC KHANH」氏より挨拶がありました（通訳が新人で何をご挨拶したのか聞き取れず）、次に在ホーチミン日本国総領事館「中嶋 敏」総領事よりの歓迎の挨拶を頂きました。

《夜景観光情報説明会》

今回参加した各市（8市）から、わが街自慢の夜景や観光の魅力などのプレゼンテーションが行われました。

長崎市は冒頭に、田上市長が夜景サミット 2016 開催についての挨拶を行い、続いて長崎市の夜景・観光についてのプレゼンテーションを行いました。その後、『横浜市、札幌市、足利市、神戸市、藤沢市、黒部市宇奈月温泉、伊東市伊豆ぐらんぱる公園』の代表者の皆さんが、地元の夜景・観光等について、開催地ベトナムの旅行代理店の皆さんに、プレゼンテーションを行いました。どの市も、それぞれの特徴や特質を活かした、素晴らしいプレゼンテーションでした。

その後、ホーチミン市の『日本夜景応援大使』任命式がおこなわれ、応援大使にモデルの「Dinh Ngoc Dipe」さんを「丸々もとお」氏が任命しました。

懇親会」では出席者全員が出席し、プレゼンテーションを行った各市は、ベトナム旅行代理店の関係者と懇親を深めていました。





【7月28日（木）】

6、市内視察

午前中は、各市の訪問団と共に、市内を視察しました。統一会堂、戦争記念館



【おわりに】

今回、7月26日から28日までの実質3日間、『夜景サミット2016inベトナム』に参加させて貴重な体験をさせて頂きました事に感謝いたします。

今回感じたことは、日本もベトナムも相互に関係が深く友好深いことを感じました。ビジネスにおいて、人材派遣の中で日本の技術を深く学び、果敢に母国の発展に繋げていく姿勢は素晴らしいものです。

また、”東洋のパリ”と言われるホーチミン市の夜景は、水上からの夜景、展望台からの天空の夜景、ライトアップをしている文化財の夜景、商業都市としての街並み夜景など、今後新しい夜景都市が生まれていく事と思います。